

みたか国際化円卓会議第14期 第1回会議録要旨

| | |
|-----|--------------------------|
| 日時 | 令和7年8月4日（月）18：30～20：00 |
| 会場 | 三鷹市教育センター2階 第二中研修室 |
| 出席者 | 委員12名（欠席委員4名）、事務局4名 傍聴1名 |

【当日配布資料】

みたか国際化円卓会議 第14期委員名簿

（資料1）三鷹市の国際化に関する取り組みについて

（資料2）みたか国際化円卓会議設置要綱

（資料3）みたか国際化円卓会議第13期報告

（資料4）外国籍市民向け防災ハンドブック(案)

（資料5）第5次三鷹市基本計画(国際化抜粋)

【記号について】

| | |
|---|--------|
| ・ | 委員の発言 |
| → | 事務局の発言 |

【議事内容】

1 委嘱状の交付

2 市長あいさつ（代理 石坂企画部長）

3 委員・事務局自己紹介

4 正副座長選任・あいさつ

互選の結果、座長：坂本 ロビン 委員、副座長：野村 隆志 委員に決まる。

5 みたか国際化円卓会議等について

→資料3～5を基に円卓会議の活動報告及び近年の国際化の推進に関する主な取組の説明

・みたか国際化円卓会議設置要綱が改正されているようだが、どのような改正があったのか。

→直近では、令和7年6月に委員を1名増やす改正を行った。防災について協議するに当たり、普段地域で深く関わっている住民協議会委員の枠を1名から2名とした。

・三鷹市では外国籍市民が増えているとあるが、どのような年齢や国籍の人が増えているのか。

→正確なデータは後ほど改めてお伝えするが、コロナ禍による影響が落ち着き、再び留学生が増えている傾向にある。現場の実感としてはどうか。

・所属する学校では、コロナ禍が落ち着いたことに加え、今は円安の影響で留学しやすくなっていることから、コロナ禍前より留学生が増えている状況がある。

・私の通う大学でも、コロナにより来日できていない学生は今もいるので、今後もっと留学生は増えていくと思われる。また、留学で来日した際の市役所での様々な手続きが複雑で、私の通う大学では先生や職員がサポートしてくれるが、情報が不足していると感じる。

→各手続きでお困りの際は、ぜひ三鷹国際交流協会（以下「M I S H O P」という。）にお声がけいただきたい。

・M a c h i k o e（以下「マチコエ」という。）での活動の際、三鷹国際交流フェスティバルにブースを出して、来場者アンケートを行ったが、誰もM I S H O Pについて知らず、イベントの主催がM I S H O Pであることも知らなかったことが驚きだった。

・確かにM I S H O Pについて知る機会はあまりない。学校の先生や学生も知らない人は多く、知っている人から口コミで広まっている。ホームページ等、もっと広めた方が良いと思う。

・マチコエでも、M I S H O Pはフェスティバルに注力するより、ワンストップで手続きが出来るような機能を持つべきだという提言を行ったが、採用されなかった。

・在留関係の手続きについては、四ツ谷にある外国人在留支援センター（F R E S C）では多言語で電話対応してもらえる。出入国管理局のホームページも多言語化されている。手続きに必要な資料や様式も一覧で掲載しており、便利である。

・私には外国籍の家族がいるが、医療、役所の手続き、教育が困る分野と言っていた。

・役所での手続きでは、例えば制作中の防災ガイドブックなどについても、ただ渡すだけではなくきちんと説明することが大切である。

・前期で話し合った「多文化共生センター（仮称）」とはどのような施設なのか。

→駅前の再開発に伴い創設する施設で、現在のM I S H O Pを発展的に継承する。国際交流にとどまらず、平和、男女平等参画といった、幅広い人権施策が一体となったセンター機能を持たせる予定である。再開発の進捗に合わせて進めていくため、現状はまだ検討段階である。

6 防災ハンドブック（案）について

・防災ハンドブックは、今日配られた内容がほぼ確定なのか。まだ意見できる段階か。

資料4の内容を見ると、字も小さく、そのまま実用化するのは難しいという気がする。

→配布資料は現時点での案であり、本日はぜひ率直な意見をいただきたいと思う。

・前期の円卓会議では、文字は少なめでイラスト多めという提案が出ていたと思うが、現案では文字が多すぎる。必要な情報を全て載せたい気持ちは分かるが、これでは何が大切な情報なのか分からない。

・見開きのイラストは分かりやすい。ただ、次のページから情報量が多すぎて読む気がなくなる。例えばランク分けをして、一番大事な情報（自分のからだを守ってください、等）に絞って書くの良いのでは。

・こうした冊子も分かりやすいと思うが、M I S H O Pで防災関係の講習を受けることができ、内容も分かりやすかった。ただ参加者は日本人ばかりで、外国籍市民はとても少なかった。M I S H O Pでどんな情報を出しているかを知らない外国籍市民は多いと思う。

・このガイドブックは、個人がどう行動するかの視点で書かれているが、実際の外国籍市民は、大使館や地域の同じ国籍の人とのコミュニティからの情報を重視する。実際に外国籍市民が必要とする情報と差がある印象を受けた。また、この冊子に書いてある内容は東京都の防災ブックとあまり変わらないので、そちらを読んだ方が良いのでは。

・この冊子の内容は地震と大雨となっているが、最近埼玉県で起こったような道路陥没もとても恐ろしいので、そうした災害への注意点も盛り込んだらどうか。

→災害時に必要な情報を全て盛り込もうとすると、内容が非常に膨大なものになり、ご指摘のように東京都と同じようなものになる。この冊子で伝えたいのは「自助」の意識、災害時にまず何をしたら良いか、ということである。本日皆さんからのご意見を伺い、その点をもっと明確に、情報を絞っていきたい。

・日本では地震や台風が多いということから、冊子の大きな構成としてはこの2部構成が良いと思うが、構成やステップが分かりづらいのだと思う。

・三鷹市の特色が書いてあると良いのでは。こういう特色があるからこうした点に注意が必要だ、という内容があると、自分事として読めるのでは。

・三鷹市の特色としては、火災時のリスクである。三鷹市にはポンプ車が少ないため、火災時救助におけるリスクが高い。「3日分」の備えが必要という視点が重要で、水が何リットル必要かを書く必要はない。「3日間助けは来ない」と書けば、3日間生き延びるために何が必要かは自分達

で考える。一方で、ハザードマップや避難所等の大切な情報は載っていない。

- ・避難所の場所は知りたい。

- ・実際は避難所も全てが開設されるわけではない。建物の安全を確認したうえで三鷹市が開設すると判断した場所が利用できる。一覧を載せるよりも、どこかの避難所が開設されるかの情報にアクセスできるようにする方が効果的だと思う。

- ・災害時は、近所の人と声をかけあうことが大事だと思う。

- ・それらも含め、避難所の場所など、暮らしにまつわる知っておくべきことを、転入時に時間を取ってレクチャーすることが必要だと思う。

- ・例えば市内で一番外国籍市民が多く集まる国際交流フェスティバルで防災コーナーを設けて、M I S H O Pで防災の講習が受けられます、こんな体験ができます、といったことを呼びかけると良いのでは。

- ・先ほど意見のあった「3日間必要なもの」は非常に重要で、何かあっても3日間は生命が維持できると考えられていることから、災害当日に避難所が開設されることはまずない。災害が起こった時、例えば井の頭公園で野宿したり、車中泊をしたり、とにかく3日間はそれぞれで生き延びてください、ということである。三鷹市では実際に災害を経験していないため、ガイドブックを作るのが難しいのだと思う。

→昨年度は台風時に野川が氾濫する可能性が高まった際、実際に大沢台小学校に避難所を開設し、机上の理論ではないことを実感した。話は逸れるが、実際に災害が起こったときに外国籍市民の方がM I S H O Pに集まるわけにはいかないし、ボランティアの配置もどうすべきか、現実的に考えていかななくてはいけない。今日皆さんからのご意見をいただき、どこにでもあるようなものにならないよう、メリハリをつけて考えていきたい。

7 今期の議題について

→事務局より、第5次基本計画内「外国籍市民の地域社会への参加」をテーマの1つとすることを提案。

- ・テーマは1つに絞る必要があるのか。

→1つに絞る必要はなく、複数のテーマを議題とすることも可能である。

- ・同じく第5次基本計画に掲載されている「三鷹国際交流フェスティバルの見直し」について協議するのはどうか。フェスティバルの開催目的を明確にすることに対し、過去にマチコエで参加した際の知見も活かすことができると思う。

→国際交流フェスティバルは実行委員会形式で開催しているものでもあり、円卓会議から提言という形で示すことは難しいかもしれない。ご提案の中からテーマを決めていきたいと思うが、テーマ案は持ち帰らせていただきたい。

- ・事務局からのご提案は「外国籍市民の地域参加を促進する方法を考えましょう」ということかと思うが、例えば夏だったら盆踊りなど地域のイベントについて、どこで開催するかが一覧となったものを作成してPRするのは良いかと思う。

- ・最近Y o u T u b eなどで、日本のZ世代が外国人に対してどう思っているかを紹介するものが増えているが、三鷹市でも、市民が外国籍市民に対してどう感じているかのリサーチが必要だと思う。

- ・先日の参議院選挙で「日本人ファースト」という政策が注目されたが、同じ人間として、もっとコミュニケーションが必要だと思う。

- ・私も地域でお互いに交流を深めること、話し合うことが必要だと思う。一方で、具体的に外国籍市民が、医療などの面で困っていることがあれば、その解決に向けて話し合うことも良いので

はと思う。

- ・盆踊りなど日本文化に関することは関心が高いと思うが、参加するにはハードルが高い。
- ・外国籍市民にとって、例えば盆踊りには事前に練習会があるという情報が伝わっていないし、誰かに誘われないと参加しづらいのだと思う。コミセン祭りも、外国籍市民の方はほとんど見かけない。まずはどうやって知ってもらうかが課題である。
- ・私のように都心に働きに行き、住んでいるだけの住民にとって、地域のイベントに参加することはとても敷居が高い。地域は開かれていないように思う。それをどう開かれたものにしていくかを考えることは非常に大事で、私達の役割だと感じる。コミュニティをつくっていく、というのはとても良いテーマだと思う。

8 次回日程・その他

- 次回は12月頃の開催を予定。近くなったら皆様に日程調整をさせていただく。
- 防災ガイドブックについて、本日いただいたご意見を反映し修正を加えたものをフィードバックさせていただく。
- ・(座長) 新規委員へショートスピーチについて説明。

以上